

9月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	枚方大橋付近～三川合流点付近（大阪府・京都府境界） （左岸25.8km～34.6km）		
モニター実施日時	令和元年9月14日（土） 15時20分頃～16時頃		
天 候	晴れ		

（見出し）

今月は、枚方大橋付近（左岸25.8km）～牧野橋付近（穂谷川合流地点）（左岸30.5km）の4.7kmについてモニターしました。

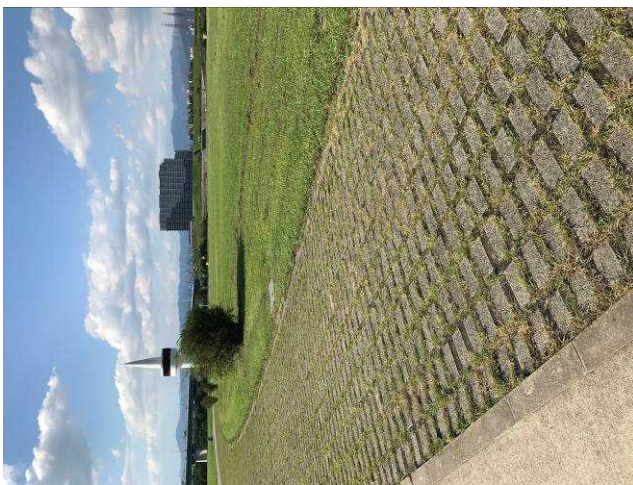
河川内の迷惑行為（ゴミの投棄等）について報告します。

いよいよ初秋の季節とはいえモニター当日は日差しが強く、「残暑」の空気が漂う一日でした。

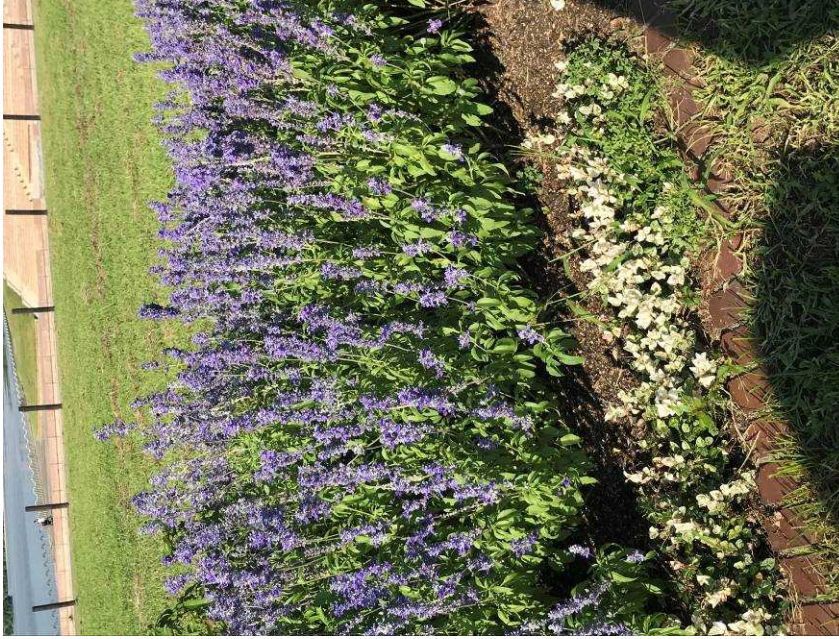


図：暑さにも負けずサッカーをする少年達

河川公園は綺麗に整備されています。この日も整備直後だったようで、刈られた草の匂いが立ち込めていました。



図：整備された広場



図：咲き誇るラベンダー

また、河川沿い道路には先月レポートした時より多いゴミが落ちていました。やはり飲料缶・ペットボトルが多数なので飲んだ後に気軽に捨てるのでしょうか…その先のことまで考えて行動してほしいです。





図：捨てられたゴミ

9月のレポートは以上です。

(意見・感想・処置等)

9月分のレポート有り難うございました。

淀川を代表する植物である「葦」、そしてヨシ原は優れた河川資源です。

大阪府高槻市鶴殿から上牧に広がる淀川右岸河川敷の鶴殿のヨシ原は、特に有名ですよね。

鶴殿のヨシ原は宇治川・桂川・木津川が合流し、淀川となる合流地点から下流にある淀川流域でも最大のヨシの群生地であり、野鳥や動植物の貴重な生息地ともなっています。

鶴殿のヨシ原は昔から多くの歌人にも詠まれてきました。

この鶴殿に生えるヨシは大形のヨシで太く弾力性があり、古くから雅楽の箏箏の

蘆舌として使用されており、今でも宮内庁楽部で使われている蘆舌は、すべて鶴殿産のヨシで作られているそうです。

淀川のいたるところにゴミが捨てられ、淀川の環境や利用に影響を与えているのが現状です。

淀川からゴミの不法投棄をなくして潤いのある豊かな水辺を取り戻すためには流域のみなさんと力を合わせる大切だと思います。

淀川河川事務所管内において2月～3月にかけて大規模な清掃活動として「淀川一斉美化アクション」が実施されています。

この河川美化運動により、参加者をはじめ流域住民の方々にマナーアップの意識の共有を促し、「ゴミの持ち帰り運動」へと発展させ、美しい淀川の水辺環境の保全を目指しています。

それでは10月のレポートをお待ちしております。